

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 日本製鉄㈱ 瀬戸内製鉄所 広畑地区

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

〈所スローガン〉

地域から信頼される製鉄所を目指して

〈目標〉

- ・「環境事項ゼロ」の達成
- ・ゼロカーボン社会への貢献

〈重点項目〉

1. 環境関連法、条例、協定等の徹底遵守
2. 大気・水質・ばい塵等の環境改善対策の推進
3. 全職員が一体となった環境保全活動の実施
4. 省エネルギー、省資源、リサイクル活動の推進

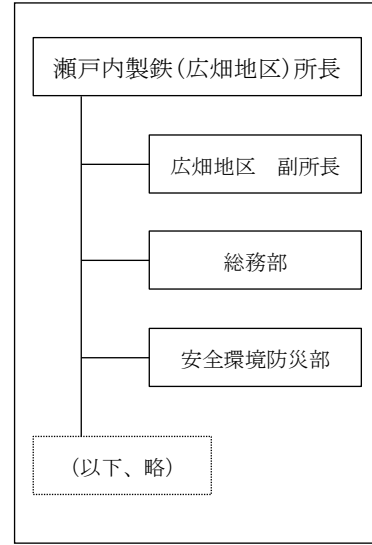
1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

令和4年4月1日

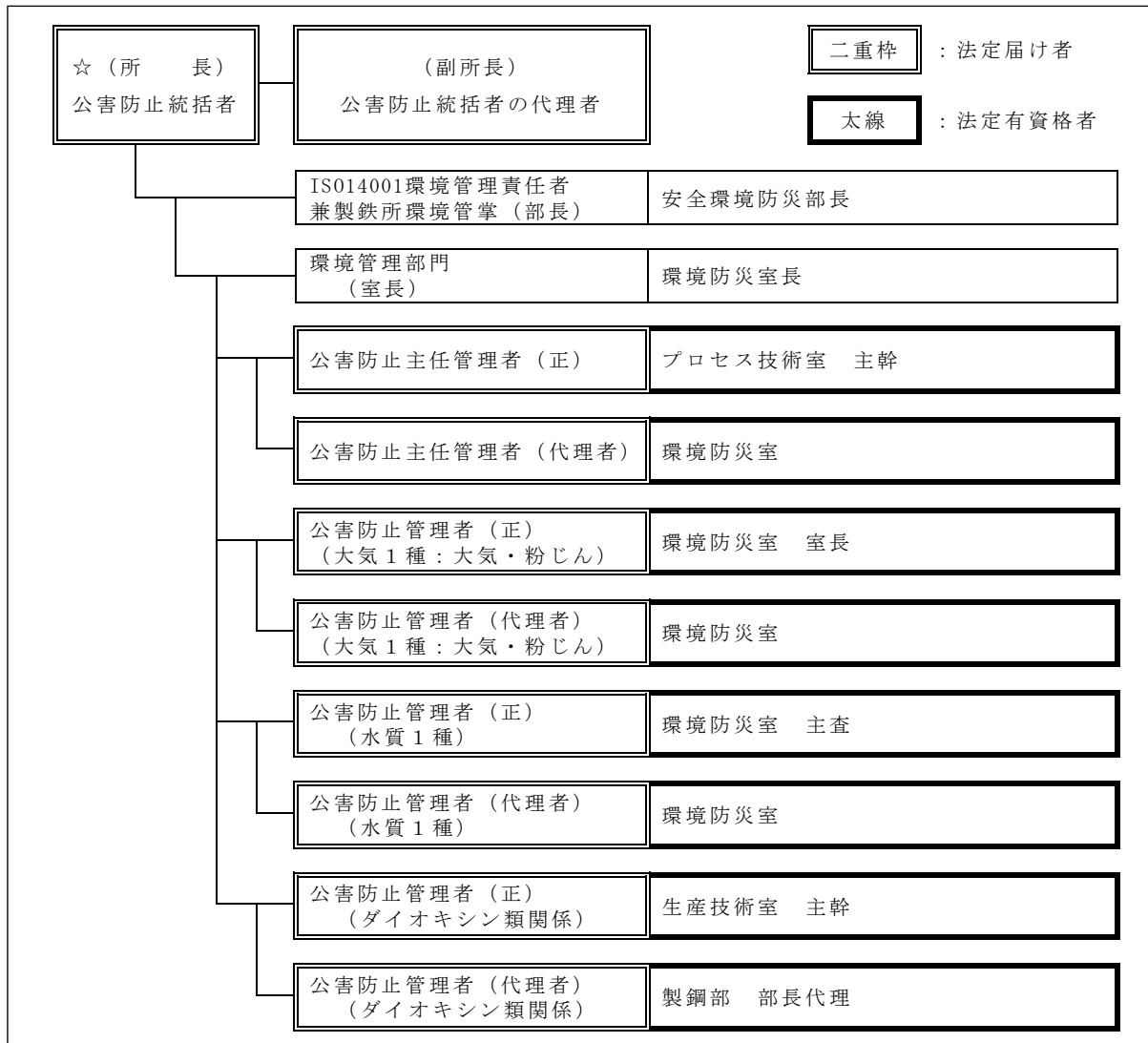
1 公害防止組織法に基づく公害防止組織

公害防止統括者	職名 氏名	瀬戸内製鉄所(広畑地区)所長
公害防止統括者の代理者	職名 氏名	副所長
公害防止主任管理者	職名 氏名	プロセス技術室 主幹
公害防止主任管理者の代理者	職名 氏名	環境防災室
公害防止管理者 (大気1種)	職名 氏名	環境防災室 室長
公害防止管理者の代理者 (大気1種)	職名 氏名	環境防災室
公害防止管理者 (水質1種)	職名 氏名	環境防災室 主査
公害防止管理者の代理者 (水質1種)	職名 氏名	環境防災室
公害防止管理者 (ダイオキシン類関係)	職名 氏名	生産技術室 主幹
公害防止管理者の代理者 (ダイオキシン類関係)	職名 氏名	製鋼部 部長代理

2 瀬戸内製鉄所広畑地区組織図
(抜粋)



3 環境管理組織の体系



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
大気環境 保全活動	(1) 粉塵対策の継続実施 ・令和3年度対策として以下を実施 ① 製鋼地区 ア) 製鋼建屋漏洩対策（計画的な補修）：継続 イ) 環境設備（集塵機等）の維持管理：継続 ② DPR 地区 ア) 粉塵監視カメラの設置（監視強化と迅速な対応）：5月 イ) 高所ミスト散水の24時間対応、場内散水：継続 ③ 石炭ヤード固定散水銃の設置（13箇所）：1月 ④ 石炭ヤード防塵コーティング、防風ネット による発塵抑制：継続 ・道路散水、ヤード散水、高所ミスト散水の強化実施 ・発塵抑制対策設備の維持管理強化	・令和3年度までの対策の継続効果発揮 ・令和4年度粉塵対策の実行 ①製鋼地区対策： 建屋漏洩対策（密閉化） ②DPR 地区対策： 粉塵発生源設備の稼働体制変更 ③道路発塵対策 散水・清掃強化
	(2) 大気汚染防止法に基づくばい煙監視の体制強化 （構内他企業含む）	継続実施 構内の主要他社の環境監査実施
	(3) 排水監視機器の維持管理継続中	継続実施
排水管理 強化活動	(1) 各工場毎の模擬排水停止訓練の実施 (2) 岸壁・護岸定期パトロールの実施 (4) 構内他社の管理指導 ・環境管理部門による主要構内他社の環境監査実施	訓練は構内主要他社参加 継続実施 継続実施 継続実施
	(3) 排水監視機器の維持管理継続中	継続実施
臭気・騒 音対策	(1) 臭気対策の推進 ・構内他社も含め臭気懸念箇所の管理と改善の推進	継続推進
	(2) 騒音対策の企画 ・騒音発生源の調査と抑制対策の企画及び対策の推進	継続推進
廃棄物適 正処理化	(1) 構外委託処理物の構内処理化拡大	継続推進
	(2) 電子マニフェスト化の推進（令和3年度実績：100%）	継続推進
	(3) スラグの利用用途拡大の企画推進	継続推進
省エネル ギー活動	(1) 省エネ対策工事の着実な実行	実行中
	(2) 身近な省エネ活動の推進（業務の効率化、テレワーク、WEB会議の推進）	継続中
	(3) ペーパーレス化の推進	継続中
ISO14001	(1) 内部監査の実施 ・令和3年11月～12月、全部門実施完了	令和4年11月から全部門実施予定
	(2) 本社環境部による環境監査 ・令和4年2月1日	令和4年10月本社による定期監査予定
	(3) 外部審査会社（JICQA）による更新審査完了 ・定期審査：令和4年3月15、16日→審査合格	令和4年12月更新審査予定
環境教育	(1) 環境自主学习（教育資料）を社員を対象に実施。 （6月～8月）	☆オンライン教育 ☆自主学习
	(2) 所内教育計画に基づく実施 ・年代別、階層別教育計画に基づき実施	☆継続実施
地域社会 活動	(1) 工場見学受入（コロナ影響で中止）	☆受け入れ中止中
	(2) 製鐵所周辺清掃活動：正門通（中止）。電磁門通（中止）	☆活動見合せまたは中止
	(3) 緑の町スポーツ大会：中止	
緑化対策	(1) 既存緑地の維持管理強化	継続実施

☆新型コロナ対応で活動の自粛、見合せ及び中止等の影響を受けているもの。